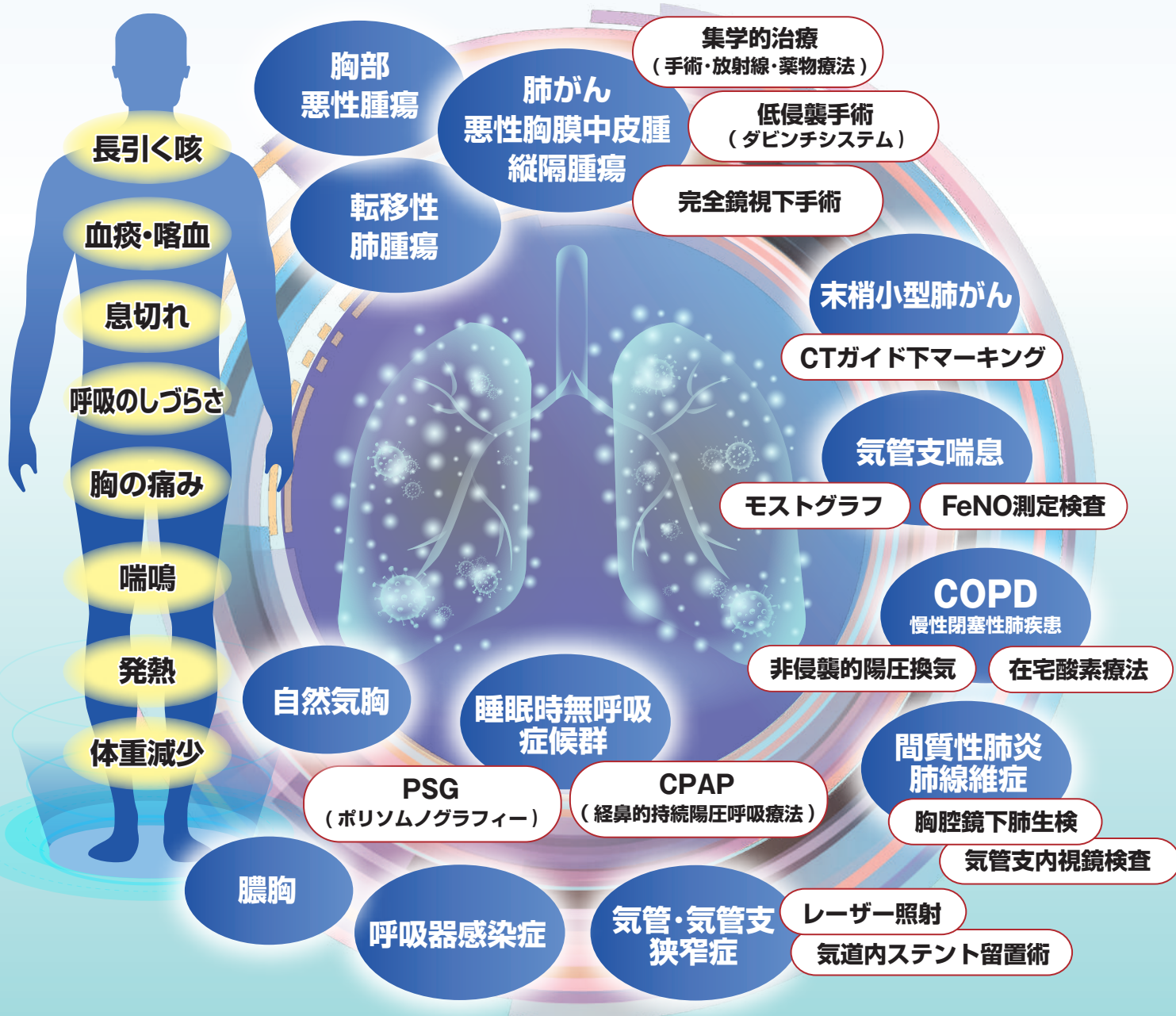


# 特集 呼吸器ユニット

呼吸器内科と外科、多職種が連携する  
チームによる「ユニット一体型診療」



連携特集

【全診療科からの紹介可】

胸部悪性腫瘍、慢性咳嗽など様々な疾患・症状に、ユニットによるシームレスな診療体制をご提供します

平素は当院の診療活動に対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当院では2025年7月より、さらなる医療の質向上とシームレスな診療体制の構築を目指し、**呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科と呼吸器外科を1つのセクション＝呼吸器ユニット**へと統合しました。この統合で、先生方からご紹介いただく患者さんに対して、これまで以上に迅速かつ最適な医療を提供できる体制が整いました。

呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科

科長 藤阪 保仁

ふじさか やすひと

専門分野：肺がん、固形がん

資格：呼吸器専門医・指導医、日本臨床腫瘍学会指導医、日本臨床薬理学会指導医

呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科

科長 池田 宗一郎

いけだ そういちろう

専門分野：呼吸器全般、免疫、アレルギー疾患、睡眠呼吸障害

資格：総合内科専門医、呼吸器専門医・指導医、気管支鏡専門医・指導医、アレルギー専門医

呼吸器外科

科長 佐藤 澄

さとう せよし

専門分野：呼吸器、縦隔

資格：呼吸器外科専門医・指導医、呼吸器専門医・指導医、外科専門医・指導医

統合によるメリットと特徴

内科・外科の垣根をなくした迅速なワンストップ診療

セクションの統合により、内科的治療から外科的手術への移行、あるいは術後のフォローアップが同一ユニット内で完結します。紹介先を迷われるような症例でも、窓口を一本化することで、診断から治療開始までの期間を大幅に短縮いたします。

多診療科による「毎週の合同検討会（Lung Disease Conference）」での方針決定

呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科、呼吸器外科に加え、放射線腫瘍科、放射線診断・IVR科も加わった合同検討会（カンファレンス）を毎週開催しております。各分野の専門家が多角的な視点から症例を検討することで、患者さん一人一人に適切な集学的治療を迅速に決定します。

高度な専門性と治療をはじめとする「新しい治療」へのアプローチ

当院は各種学会の認定施設で、かつ経験豊富な認定医・専門医が多数在籍しています。また、標準治療だけでなく、治療や臨床試験を含む新しい治療選択肢を揃えております。更なる治療成績の向上を目指した次の一手となる先端医療をご提案できる可能性があります。（各特色は、右ページコラムをご参照ください。）

呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科

Topics

肺がん薬物療法のNext Stage

分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬、二重特異性抗体、抗体薬物複合体の導入により大きく進歩し、治療選択肢は高度に細分化しています。一方で、治療効果を最大限に引き出すには、副作用管理と多職種・多診療科による連携が不可欠です。大学病院ならではの診療連携体制を活かし、新しい薬物療法に対応するとともに、周術期薬物療法の導入を通じて、さらなる予後改善に挑戦しています。

呼吸器外科

Topics

小さな病変も見逃さない  
ハイブリッド手術室を活用した微小肺病変の精密切除

近年、CT検診の普及により、数mm大のすりガラス陰影（GGO）や小型肺結節の発見が増加しています。当科では、ハイブリッド手術室において呼吸器外科医が**CT下マーキング**を行い、得られた位置情報をもとに病変を正確に切除しています。三次元的な画像情報と低侵襲手術を組み合わせ、正常肺を温存した精密な肺切除を実践しています。微小肺がんや診断困難な肺結節にも積極的に対応しています。

Topics

治験：豊富な経験と確かな実績

分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬を軸とした新規肺がん薬物療法の開発に積極的に取り組んでいます。国際共同治験や、ヒトに初めて投与する**第1相試験**にも力を入れており、第1相から第3相まで幅広い治験に対応しています。**全国の大学病院の中でもトップクラスの治験・早期開発臨床試験の実績**を基に、次世代の薬剤をここ高槻の地からいち早く患者さんへ届け、長期生存を希求できる未来をとくに目指してまいります。

Topics

慢性咳嗽（まんせいがいそう）・気管支喘息

長引く咳嗽は、患者さんの日常生活の質を著しく低下させる一方で、原因が多岐にわたり、特に気管支喘息の診断は困難です。アレルギー性鼻炎など治療可能な特性（treatable traits）への介入も重要なため、当院では**呼気一酸化窒素（FeNO）測定**等の精密評価に加え、**アレルギーセンターとの連携**、生物学的製剤を含む適切な治療選択により、診断に苦慮する症例や難治例に包括的に対応しています。

Topics

一人ひとりに最適な肺がん治療  
周術期治療と組み合わせた最新の肺がん外科療法

肺がん治療は、手術単独から**薬物療法を組み合わせた集学的治療**へと進化しています。当科では呼吸器内科・放射線治療科と連携し、免疫チェックポイント阻害薬を中心とした周術期治療を取り入れた新しい肺がん外科治療を実践しています。術前治療による根治性向上を目指すとともに、術後補助療法まで含めた包括的な治療計画を立案し、患者さん一人ひとりに適した治療を提供しています。

Topics

他診療科と連携した拡大手術による  
進行呼吸器疾患への対応

進行肺がんや胸壁・縦隔浸潤を伴う腫瘍では、**他診療科による高度な治療戦略**が重要です。当科では心臓血管外科、形成外科などと緊密に連携し、大血管合併切除・再建や胸壁再建を伴う拡大手術にも積極的に取り組んでいます。術前カンファレンスで綿密な治療計画を立案し、各専門領域の技術を結集することで、進行症例に対しても安全性と根治性を両立した外科治療を提供しています。

増加するヘルニア疾患に  
包括的な診療体制で対応します

就任のご挨拶

腹部ヘルニアセンター長  
今井 義朗  
いまい よしろう

このたび大阪医科薬科大学病院に腹部ヘルニアセンターを開設いたしました。センター長の今井義朗です。近年増加する腹部ヘルニア疾患に対し、鼠径ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア、食道裂孔ヘルニア、小児ヘルニアなどを対象に、専門的かつ包括的な診療体制を整えました。地域の先生方との連携のもと、患者さんに最適な治療を提供してまいります。ご紹介を心よりお待ちしております。

一般・消化器・小児外科外来

小児ヘルニア⇒ 月 富山英紀  
成人ヘルニア⇒ 木 今井義朗

センターの特徴

当センターでは、患者さんにより負担の少ないヘルニア治療を目指し、先進的な低侵襲手術に積極的に取り組んでいます。鼠径ヘルニアに対しては、臍部の傷1カ所のみで行う単孔式腹腔鏡手術を導入し、整容性と低侵襲性の両立を図っています。また、腹壁癒痕ヘルニアに対しては、腹直筋の背側にメッシュを留置する先進的な腹壁再建術を導入しており、多くの治療実績を有しています。さらに、ロボット支援手術にも対応し、患者さんごとに最適な治療法を選択しています。小児外科専門医により小児鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡手術も積極的に行っており、乳幼児から高齢者まで幅広いヘルニア疾患に対して大学病院ならではの豊富な経験と多職種連携により、安全で質の高いヘルニア診療を提供いたします。

大阪医科薬科大学病院  
中央手術棟

先生方からのご紹介について

「手術が必要な内科的治療を継続すべきか判断が難しい」「まずは画像診断を含めて総合的に評価してほしい」といった段階の患者さんでも、積極的にお引き受けいたします。統合された新しい呼吸器ユニットが責任を持って迅速に対応し、方針が決定・安定した後は、速やかに先生方のもとへ紹介させていただく連携体制を徹底しております。地域の先生方との緊密な連携こそが、患者さんへの適切な医療につながると確信しております。新体制となった当院の呼吸器ユニットを、ぜひ先生方の「専門外来・高度治療部門」としてお役立てください。

場所：東館2F（2F連絡通路を渡る）

呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科

呼吸器外科

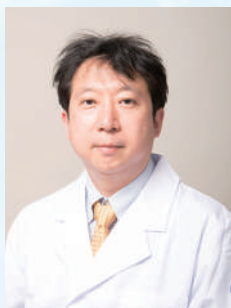
呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科

呼吸器外科

# 新任科長のご挨拶

呼吸器外科

2026年4月1日着任



呼吸器外科 科長

**佐藤 澄** (さとう きよし)

■ 専門分野  
呼吸器外科一般

■ 資格  
日本外科学会専門医・指導医、  
日本呼吸器外科学会専門医、  
日本呼吸器外科学会胸腔鏡安全技術認定制度  
認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医、  
日本呼吸器学会専門医指導医、  
日本がん治療認定医、肺癌学会暫定指導医、  
日本呼吸器外科学会認定ロボット支援手術  
プロクター、肺がんCT検診認定医

低侵襲な胸腔鏡・ロボット手術を積極的に進め、呼吸器内科・放射線科など  
多職種連携を軸に、肺がんをはじめ、縦隔腫瘍、気胸、感染性疾患など幅広い  
呼吸器外科疾患に対し、安全で質の高い医療を提供してまいります。

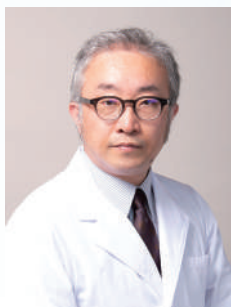
〈特技/趣味〉スポーツ観戦

■ 略歴

1994年 3月 名古屋市立大学医学部卒業  
1994年 5月 京都大学胸部疾患研究所胸部外科入局  
1994年12月 京都桂病院呼吸器科勤務  
1995年 4月 市立静岡病院胸部外科勤務  
1996年 9月 日本赤十字社和歌山医療センター呼吸器外科勤務  
1998年 9月 関西電力病院呼吸器科勤務  
2003年 4月 京都大学大学院医学研究博士課程入学  
2006年 8月 京都大学呼吸器外科教室助手  
2007年11月 京都大学大学院医学研究博士課程学位取得  
2009年 6月 大阪医科大学 胸部外科助教  
2016年 1月 大阪医科大学 胸部外科講師(准)  
2020年 4月 大阪医科大学 胸部外科講師

救急診療科

2026年4月1日着任



救急診療科 科長

**山川 一馬** (やまかわ かずま)

■ 専門分野  
救急医療、集中治療、外傷外科、災害医療

■ 資格  
日本救急医学会専門医・指導医、  
日本外科学会専門医、  
日本外傷学会専門医、  
日本DMAT隊員

2026年4月1日付で救急診療科科長を拝命いたしました。三島地域の  
医療機関、救急隊、行政の皆様と協調し、地域医療体制やプレホ  
スピタルを含めた包括的な救急医療システムの構築に尽力してまいり  
ます。

〈特技/趣味〉篆刻、爬虫類飼育

■ 略歴

2003年3月 北海道大学医学部医学科 卒業  
2003年5月 大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 医員  
2004年6月 手稲溪仁会病院 救急部 医員  
2006年6月 大阪労災病院 外科 医員  
2008年4月 大阪急性期・総合医療センター 救急診療科 医員  
2014年3月 大阪大学大学院医学研究科博士課程 修了  
2014年9月 米国Beth Israel Deaconess Medical Center/  
Harvard Medical School 研究員  
2015年6月 米国Brigham and Women's Hospital/  
Harvard Medical School 研究員  
2016年9月 大阪急性期・総合医療センター 救急診療科 医長  
2020年4月 大阪医科大学 救急医学 准教授  
2026年4月 大阪医科大学 救急医学 教授

広域医療連携センター

患者総合相談室 室長就任のご挨拶



患者総合相談室  
室長  
**三澤 美和**

平素より多くの患者さんをご紹介いただき、誠にありがとうございます。

2026年4月より患者総合相談室室長を拝命いたしました、総合診療科の三澤美和と申します。患者総合相談室は、  
広域医療連携センターの一部門として、外来および入院中の患者さんからの医療・福祉制度、難病などに関するさま  
ざまなご相談をお受けしています。また、患者さんから寄せられるご意見や投書を確認し、より快適で安心できる病院  
づくりにつなげる役割も担っています。

病院は患者さんにとって非日常の場であり、何らかの健康問題を抱えることは大きな不安を伴います。ご自宅のよう  
にはいかなくても、病院で過ごす時間が少しでも安心でき、落ち着けるものとなるよう、患者さんの声に耳を傾け、チーム  
全体で知恵を出し合いながら活動してまいります。

新棟が完成し、院内環境は随分と明るく、きれいになりました。その環境に見合うよう、私たち職員に求められる  
のは、一人ひとりの「あたたかさ」であると感じています。患者さんはもちろん、日頃よりお世話になっている地域の  
医療機関の皆様にも信頼していただける病院であり続けるために、あたたかい医療機関とはどうあるべきかを常に  
問いながら、尽力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

入院手続きから療養に関するご相談まで

## 「患者サポートエリア」のご紹介

No.3

## 口腔チェック編

患者サポートエリアでは、入院や手術を予定されている患者さんに対して様々な支援を行っています。その一つに「口腔チェック」があります。全身麻酔下での手術や内視鏡検査では、口から医療機器を挿入するため、口腔内の衛生状態や歯の状態が安全な医療の実施に大きく関わります。口腔内に細菌が多い場合には術後肺炎などの感染症のリスクが高まり、また、動揺している歯がある場合には処置中の歯の脱落につながる可能性があります。これらお口のトラブルから患者さんを守るため、当院ではサポートエリアでの口腔チェックの後、必要に応じて、マウスピース作製や専門的口腔ケアの実施などを行っています。さらにはがん治療における化学療法の際にも継続的な口腔衛生管理を支援しています。「口から支える安全な医療」を理念に、治療の安全性向上と合併症予防に取り組み、患者さんが安心して治療を受けられる環境づくりに努めています。



Topics/ホームページ



病院ホームページに

患者さんに寄り添い、患者さんを支える

### 「患者サポートエリア」の

ページができました！

患者さんにとっては「ワンストップ」、  
そこにいるだけで必要な手続きが  
全て完了します。  
是非ご覧ください。

患者サポート  
エリア >>



## 「医療機関訪問」のご案内

当院では診療のご案内やニーズをお伺いする医療機関訪問を行っています。

頂戴した貴重なご意見は院内で共有し、医療機関様、患者さん双方ともにメリットに繋がるよう改善しております。

「顔が見える連携」を目標に、これからも先生方から安心してお任せいただけるよう頑張っております。



## 広域医療連携センター 医療連携室 申込受付時間変更のお知らせ

～2026年4月1日より～

変更前 平日 8:30～19:00  
土 8:30～12:00

変更後 平日 8:30～19:30  
土 8:30～12:00  
(第2・第4土曜日休診)

## WEB紹介予約申込(やくばと)

紹介元の医療機関より基本情報を入力の上、患者さんに紹介状をお渡しいただき、紹介状を申込当日中に画像送信またはFAX送信いただくだけで、手続きは完了します。

日程調整は患者さんと本院で行います。

※今まで通りFAX紹介申込もご利用いただけます。 [詳細はこちら](#) >>

24時間  
365日  
申込可！



## 広域医療連携センター 医療連携室

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7

平日/8:30～19:30

土曜日/8:30～12:40 (第2・第4土曜日休診)

TEL.072-683-1221 (代表)内線2308

TEL.072-684-6338 (医療連携室直通)

FAX.072-684-6339 (医療連携室直通)